

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M221	1年	後期	看護学	選択	精神看護学特論Ⅱ Advanced Study on Psychiatric & Mental Health Nursin	30	2
担当教員								
中平 洋子	越智 百枝	畦地 博子*						
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
<input type="radio"/>	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
<input type="radio"/>	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
<input type="radio"/>	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
精神看護学特論Ⅰで学んだ対象理解に基づき、精神看護の対象（家族）が病気や障害を持ちながら地域社会で生活することのみでなく、人として成長・発達していくことを支援するための概念や理論を修得し、それらを用いた看護実践について考察する。								
到達目標（授業目標）								
精神看護の対象となる人々が、病気や障害を持ちながら地域社会で生活することや、成長・発達していくことを支援するための概念や理論を説明できる。 学んだ理論や概念を用い、対象（家族）に効果的な援助の方法を考察することができる。								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
回								
1回	オリエンテーション（中平洋子）							
2回	援助のための概念 エンパワメント（中平洋子）							
3回	援助のための理論 家族システム論（1）（中平洋子）							
4回	援助のための理論 家族システム論（2）（中平洋子）							

5回	援助のための理論	認知行動療法（1）（中平洋子）							
6回	援助のための理論	認知行動療法（2）（中平洋子）							
7回	援助のための理論	ソリューション・フォーカスト・アプローチ（1）（越智百枝）							
8回	援助のための理論	ソリューション・フォーカスト・アプローチ（2）（越智百枝）							
9回	援助のための理論	グリーフ・ワーク（中平洋子）							
10回	援助のための理論	セルフヘルプグループ（中平洋子）							
11回	援助のための理論	看護コンサルテーション（1）（畦地博子、中平洋子、越智百枝）							
12回	援助のための理論	看護コンサルテーション（2）（畦地博子、中平洋子、越智百枝）							
13回	援助のための理論	看護コンサルテーション（3）（畦地博子、中平洋子、越智百枝）							
14回	援助のための理論	看護コンサルテーション（4）（畦地博子、中平洋子、越智百枝）							
15回	まとめ 発表	（中平洋子、越智百枝）							
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
各テーマのプレゼンテーションおよび討議内容（40%）、最終レポート（60%）で評価する。トータル60点以上を合格とする。									
教科書									
参考図書等	ピーター ディヤング、インスー・キム バーク 著、桐田 弘江、玉真 慎子、住谷 祐子訳：解決のための面接技法－ソリューション・								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
課題を事前に提示する。各自が作成した資料を共有、議論することで学習を進める。									
関連科目									
前科目	M220	精神看護学特論Ⅰ							
後科目	M227	特別研究Ⅰ	M228	特別研究Ⅱ					
実務家教員									
備考	精神看護学特論Ⅰを履修していることが望ましい。 11-14回は、集中講義。また、本科目を履修していない看護学専攻の学生にも公開する。								